

## 安全性データシート

改定日: 2021年6月9日

前作成日: 2016年9月13日

SDS番号: 423-9

### セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

#### 1.1. 製品識別

783 ACR

#### 1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

かじり、焼き付き、腐食、電食を防ぎ、金属部品の組立て、分解を簡単にします。酸素システムには使用しないでください。

#### 1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

##### 会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

##### 供給元:

株式会社 明治屋

神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地

TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731

Eメール: [contact-ches@meidi-ya.com](mailto:contact-ches@meidi-ya.com)

#### 1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

### セクション 2: 危険有害性の要約

#### 2.1. 物質または混合物の分類

##### 2.1.1. GHSによる分類

皮膚の感作, 区分 1B, H317

##### 2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

#### 2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

警告

危険有害性情報: H317

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

<b>使用上の注意:</b>	P264	取扱後は皮膚よく洗うこと。
	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P280	保護手袋を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
	P333/313	皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

既知の影響なし

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	<1 - 4	68584-23-6
スルホン酸、石油、カルシウム塩	<1 - 4	61789-86-4
5,5'-ジチオビス-1,3,4-チアジアゾール-2(3H)-チオン	1 - 3	72676-55-2
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	<1 - 2	26264-06-2

その他の成分:

基油 - 指定なし*	45 - 60	64741-88-4
タルク	10 - 20	14807-96-6
二酸化チタン	5 - 10	13463-67-7
グラファイト	5 - 10	7782-42-5

\*IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。

<sup>1</sup>分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

**吸入:** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

**皮膚への付着:** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。炎症が生じた場合は、医師の診断を受けてください。

**目に入った場合:** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。炎症が生じた場合は、医師の診断を受けてください。

**呑み込んだ場合:** 適応せず

**応急手当を行う人の保護:** 犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

発疹やジンマシンのような皮膚の過敏を起こすことがあります。

### 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

## セクション 5: 火災時の処置

### 5.1. 消火剤

**適切な消火剤:** 二酸化炭素, 乾燥薬品 あるいは 発泡

**不適切消火剤:** 大量の水噴射

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

濃い煙。消火活動による流出液を排水口や水路に流さないでください。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

条件は特になし。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

廃棄用容器に回収してください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。取扱い後は手をよく洗ってください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
スルホン酸、石油、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
5,5'-ジチオビス-1,3,4-チアジアゾール-2(3H)-チオン	N/A	N/A	N/A	N/A
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	N/A	N/A	N/A	N/A
オイルミスト、鋳物物	N/A	3	(吸引可能)	5
タルク	(吸引可能)	0.5	(吸引可能)	2
	(総塵)	2		
二酸化チタン	(吸引可能)	1	N/A	10
	(総塵)	4		
グラファイト	(吸引可能)	0.5	(吸引可能)	2
	(総塵)	2		

**生物学的限界値**

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。  
**手袋:** 耐薬品性手袋(例: ネオプレンあるいはニトリル)。  
**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグルあるいは眼鏡。  
**その他:** なし

**8.2.3. 環境暴露措置**

セクション6と12を参照。

**セクション 9: 物理的及び化学的性質****9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	半固体	臭気	軽い石油臭
色	グレー	においの閾値	未定
初留点	適応せず	20° Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
揮発率%(容量比)	ごくわずか	pH	適応せず
引火点	> 190° C	相対密度	1.33 kg/l
方法	オープン・カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	1-3 百万 cps @ 25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	不溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	未定

**9.2. その他の情報**

EPA 24: 0.59 lbs/gal

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

炎や高熱表面。

**10.5. 配合禁忌薬品**

強酸 / 強塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

**10.6. 危険な分解物**

アルデヒド、硫黄と窒素の酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

**通常使用時の主な接触経路:** 皮膚や目への付着。

**急性毒性 -****経口:** ATE-混合物 > 5,000 mg/kg

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	致死量50(LD50), ラット	4,000 mg/kg

**経皮:** ATE-混合物 > 5,000 mg/kg

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50), ラット	> 2,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50), うさぎ	> 4,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	致死量50(LD50), うさぎ	> 4,199 mg/kg (類推)

**吸入:**

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50), ラット	> 1.9 mg/l (ミスト, 類推)

**皮膚腐食性/刺激性:** 類似材質から得られたデータに基づいて、分類基準は満たされていない。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし (類推)
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	皮膚の炎症, うさぎ	刺激性 (類推)

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:** 類似材質から得られたデータに基づいて、分類基準は満たされていない。

物質	テスト	結果
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	目の炎症, うさぎ	重篤な目の損傷 / 激しい刺激 (類推)

**呼吸器または皮膚の感作:** アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

物質	テスト	結果
5,5'-ジチオビス-1,3,4-チアジアゾール-2(3H)-チオン	皮膚の感作, マウス	過敏性

**胚細胞突然変異原性:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。**がん原性:** 国際がん研究機関(IARC) は吸引された二酸化チタンを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ 2B)。**生殖毒性:** 3691,スルホン酸、石油、カルシウム塩, カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 生殖毒性物質ではないとされています。5,5'-ジチオビス-1,3,4-チアジアゾール-2(3H)-チオン: 授乳に対するまたは授乳を介した影響 - データなし。**STOT - 単回暴露:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**STOT - 反復暴露:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	NOAEL, 経口, 28日, ラット, 雄 / 雌 (OECD 407)	500 mg/kg (類似物質)
5,5'-ジチオビス-1,3,4-チアジアゾール-2(3H)-チオン	亜急性NOAEL (無毒性量), 経口, 14日, ラット	1,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	亜慢性NOAEL (無毒性量), 経口, 6カ月, ラット, 雄 / 雌 (OECD 407)	115 mg/kg

**吸引性呼吸器有害性:** 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**その他の情報:** 既知の影響なし

## セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

### 12.1. 毒性

未定. カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 96時間LC50 (対魚) = 22 mg/l (OECD 203, 類推)。スルホン酸、石油、カルシウム塩: 96時間LC50 (対魚) > 10,000 mg/l. 鉱油: 水生生物に対する急性毒性が事実上ありません (LC50/EC50/ErC50 > 100 mg/l.)

### 12.2. 持続性・分解性

鉱油: 容易に生分解しません。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩: 容易に生分解しません (類推)。カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 易生分解性 (類推)。スルホン酸、石油、カルシウム塩: 容易に生分解しません (8.6%, 28日)。

### 12.3. 生物蓄積の可能性

カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: BCF 104, 21日, ブルーギルサンフィッシュ. 鉱油: 水生生物内の生物濃縮度は低いと考えられています。

### 12.4. 土壤中の移動性

半固体. 非水溶. 環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください (セクション9参照)。

### 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄処理方法

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

## セクション 14: 輸送上の注意

### 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

### 14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

### 14.3. Transport hazard class(es)

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

### 14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.5. 環境への危険性**

適応せず

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

適応せず

**14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

適応せず

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
その他の国内規制: なし		

**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧:** ACGIH:米国産業衛生専門家会議  
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE:急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 GHS:世界調和システム  
 ICAO:国際民間航空機関  
 IMDG:国際海上危険物規定  
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL:最小作用量  
 NOEC:最大無作用濃度  
 NOEL:最大無作用量  
 N/A:該当せず  
 PEL:許容暴露限度  
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS:安全性データシート  
 STEL:短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV:暴露限界  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)  
 化学分類および情報データベース(CCID)

**GHSによる混合物の分類方法:**

分類	分類手順
皮膚感受性 1B, H317	算出方法

**関連するH(危険)-ステートメント:** H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

**その他の情報:** なし

**本改訂によるSDSの変更:** セクション 1.3, 2.1, 2.2, 3, 4.1, 4.2, 8.1, 10.5, 11, 13, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。